

表丹沢方面：令和5年5月28日（日）

菩提峠—三ノ塔

＜二ノ塔、三ノ塔山頂周辺にて登山道補修活動を行いました＞

●神奈川県勤労者山岳連盟（以下、労山）主催の「丹沢クリーンハイク」活動の一環として、登山道整備を協働で行いました。労山は県内の山岳会の集まりで、「丹沢クリーンハイク」は、この時期に清掃登山や登山道整備を行うイベントです。登山道整備は3年ぶりの開催です。今回の登山道整備には、19名の方に参加していただきました。

●今回の作業場所は2箇所です。

まずは二ノ塔山頂直下の登山道が深くえぐれた所です。ここは路面が濡れると滑りやいので、数年前に構造階段（木製の階段）や木道を設置しました。階段周りの植生も回復してきました。



滑りやすいころの様子（2014年6月）



構造階段設置後の様子（2022年6月撮影）

●構造階段は踏み板の乾燥と歩く時の振動で、固定しているボルトが少しずつ緩んできます。今回の作業は緩んだボルトを1個ずつ締め直す作業です。2人1組で行いました。



作業中の様子

●次の作業場所は、三ノ塔山頂周辺の丸太階段です。冬期はぬかるみやすく、階段もハードル化してきました。



冬のぬかるんだ状態

●ここでの作業は、階段のステップ部分に砂利を敷くことでぬかるみとハードル化の緩和を図ります。砂利は1人約5キロを袋に詰めて菩提峠から歩荷（荷揚げ）しました。個人の装備を加えると10キロ近くになると思います。通常約1時間のコースタイムをゆっくり登りました。



作業中の様子



作業前



作業後



作業前



作業後

●苦勞して歩荷しても、補修出来る所はわずかです。登山道を維持していくことの難しさを改めて感じました。

●曇り空の1日で展望には恵まれませんでしたが、作業するにはちょうど良い気温でした。二ノ塔、三ノ塔周辺では、ヤマツツジが見ごろでした。



ヤマツツジ